

ジュエリー文化史研究会からのお知らせ—388—

2019.10.24

◎特別ハンドリングゼミ感想—酒井さんから

特別ハンドリングゼミでご協力いただいた酒井麻衣さんから  
メールが届きましたのでご紹介させていただきます。(事務局—深谷)

露木先生、宮坂さまには準備段階から当日まで大変お世話になり、  
また貴重な機会を頂き誠にありがとうございました。  
先生や皆さまのコメントを聞きながら改めていつもとは違う視点で  
観察する事ができました。

暁子さま

貴重なコレクションを改めて拝見させて頂き、ありがとうございました。  
何度見ても素晴らしい指輪たち、まだ頭で処理しきれれておりません。。

青木さま

短鎖の件、苦勞して調べたとお聞きしております。ご教授いただき  
ありがとうございます。銘ひとつで作者の経歴や時代までさまざま  
情報が辿れるものなのですね…非常に面白いです。  
私も入手した以上は元輝や袋物について自分なりに調べてみたいと思います。

翡翠の指輪、変体仮名の件

指輪の漢字を教えてくださいありがとうございます。

戸籍法を調べたところ昔は変体仮名でも名前に使用できたのではないかと  
思われる記述がありました。

書籍には「戸籍法施工規則 60 条 3 項により現在は名に用いることができませんが、  
昭和 23 年 1 月 1 日以前には主に女性の名にしばしば用いられてきました。」とありました。

「起」に濁点をつけた文字が六法の変体仮名一覧表に記載がありましたので  
参考までに写真を添付致します。

<http://www.j-bunka.jp/infomation/20191024.JPG>

(昔は紙戸籍で手書きの時代ですから、変体仮名だけでなく誤字俗字が

そのまま使われていたという事もままあったようです)

大崎さま

spm やテルハッキンの指輪を見せて頂きありがとうございました。

矢の鎖や簪のコレクションもいつか拝見できると嬉しいです。私もお持ちしますね。

以上です。

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>